

第3回チームちょこ美 PLUS プロジェクト会議

「みんなで“チームちょこ美”を盛り上げよう！」

第3回チームちょこ美 PLUS プロジェクト会議は、市民団体、事業者の皆さん12名の方々が集まり開催しました。活発な意見、提案をいただき、これからも活動を広げていこうとキモチが盛り上がりました！

【出席者】*敬称略

- 静岡使教会（柿島由和）
- ジャスコ（株）（藤巻友香、川上大樹）
- 東名グループ（竹内 新、上柳尚美）
- 田子浦ビーチクリーンプロジェクト（時田祐佐）
- （株）森電機製作所（森 万里江、佐野 寿）
- （株）コーヨー（飯田一成、古郡良卓）
- 富士見高等学校コミュニティ研究会（松田寿久、1 年山崎 俊）

情報発信について

市のウェブサイトを手工夫していきます。

①ちょこ美 PLUS 活動

一般市民が参加可能な活動を紹介

- ・まずは、情報収集・情報共有なので、皆さんから活動の情報をいただいて「いつやるか」の調整などもできたらと考えています。
- ・ウェブサイトが見られていないと意味がないので、認知度を上げることも大切です。

②ごみごマップ（新設・案）

ごみのある場所をキャッチして 随時更新（見える化）

- ・「ごみごマップ」案は、発見日時はもちろん更新周期や内容などを明確にしてやりがいのある活動につなげることが重要です。
- ・現段階では、それぞれの活動をSNSに投稿して把握し合うしかないが、活動していく上でも連携・情報共有は必要なので、まずプロジェクト会議メンバーがつながるカタチを作ってみようと思います。

令和5年12月6日（水）19:00～20:30

会場：富士市教育プラザ 大会議室

主催：富士市環境部 環境総務課 企画・運営：まちづくりプロジェクト See-through



チームちょこ美普及のための啓発品について

【これまでに作成した啓発品】

- ・チームちょこ美 PLUS ガイドブック
- ・ミニのぼり旗・ステッカー・紙袋
- ・トートバッグ・ピブス・ミニトング

【“あったらいいな”と思う啓発品】

- ・ウェットティッシュ
- ・エコバッグ（清掃グッズ入れ用）
- ・フリーザーバッグ（食品ロス対策用）
- ・携帯用 LED ライト
- ・ボールペン類 など

★ピブスについて

できるだけ大勢の人に着てもらって目立つことが大事。事故防止やごみ捨て防止にもつながります。



事業所・団体などはオリジナルのピブスを作って活動するときに着用しています。チームちょこ美のロゴを配布してもらえれば、統一したものを自分たちで作ることもできます。ピブスの他に、帽子、タスキも良いと思います。

チームちょこ美登録者への配布品について

【現在】緑の手袋・チームちょこ美 PLUS ガイドブック・マナー条例啓発用ごみ袋

【今後（案）】

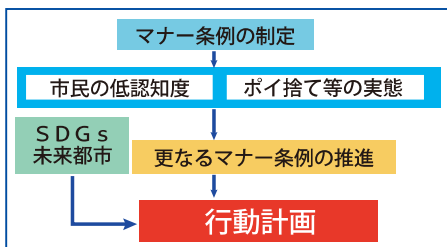
- ・緑の手袋→軍手に変更（耐久性のあるもの）→ボロボロになったら交換
- ・携帯用トング→新規登録者のうち、希望者に配布
- ・チームちょこ美の登録案内…二次元バーコード→市のウェブサイトへ
- ・名刺サイズの登録カードの作成 など

ボランティア清掃ごみについて

- ・ボランティア清掃時の注意点等について取りまとめました。詳細は、まちづくりプロジェクト See-through までお問い合わせ下さい。



「富士市 誰もが快適に過ごすことができる美しいまちづくり」行動計画を實踐中！



令和12(2030)年度までに「チームちょこ美」1万人の登録を目標！

市民ができること

市が実施する取組に協力し、市内の美化のための日常的な活動をしよう！

まちをよごさない

- ・飼犬等のふんはきちんと始末し、持ち帰る
- ・ごみを捨てない
- ・喫煙マナーを守る

まちをきれいにする

- ・「チームちょこ美」への登録
- ・ちょこ美 PLUS 活動への参加
- ・ちょこ美 PLUS 活動への取組実施（家のまわりや勤務先、学校周辺等）
- ・地域の清掃活動、公園、道路、河川等の清掃への積極的な参加



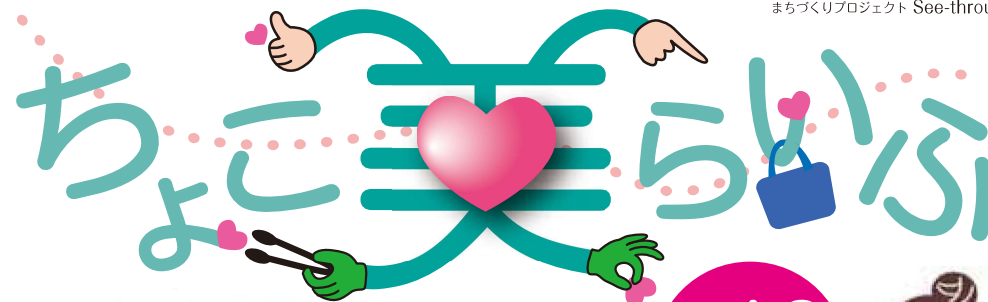
お問い合わせ
情報提供

まちづくりプロジェクト See-through Email: see-through@ad-ism.com
富士市 環境部 環境総務課 ☎0545-55-2901 FAX.0545-51-0522
〒417-8601 静岡県富士市永田町1丁目100番地
https://www.city.fuji.shizuoka.jp
Email:ka-kankyousoumu@div.city.fuji.shizuoka.jp

右記の二次元バーコードから
チームちょこ美 PLUS 活動の
情報収集や申込みをお願いします。
お電話、FAX、電子メールでも
受付いたします。



企画・編集／富士市 環境部 環境総務課
まちづくりプロジェクト See-through



チームちょこ美登録者数 4,012 人（令和6年1月現在）

つながっているよ、 「捨てないこと」と 「拾うこと」

vol.2

令和6(2024)年
2月23日発行

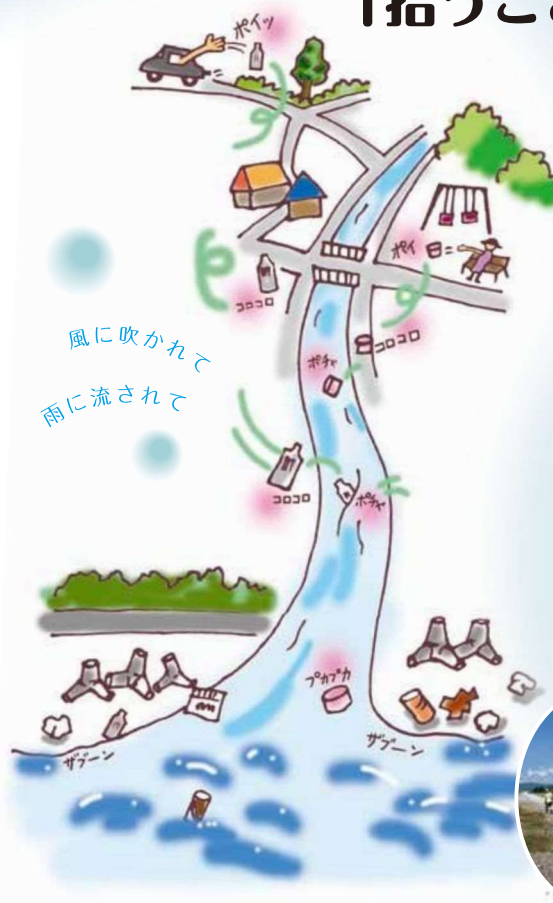


知っていましたか？

潤井川から分岐して下堀川へ、富士早川と合流して「入道樋門」へ、そして田子の浦海岸への終着点で東を向く放流口。この曲りで、ごみがそのまま海へ流れ出るのを防いでいるのですが、海辺は多くのごみのたまり場に…。

7月29日(土)9時～10時、ふじさんエコピアとNPO法人富士市のごみを考える会の協働事業としてごみ拾いが行われました。ペットボトルは、あっという間に袋いっぱい！燃えるごみだけでも25袋になりました。

「ポイ捨て」の行き先にあるものは「ごみ拾い」の現実を知ろう！





大淵街道おもてなし清掃

主催／大富士病院
(ふじクリーンパートナー事業)
毎月第3日曜日7:00～
大富士病院集合



静岡便教会 街頭清掃

代表／柿島由和さん
毎月第4日曜日6:30～
奇数月／新富士駅周辺
偶数月／富士駅周辺



富士市がもっと
キレイな街に
なりますように

ちよこ美 ごみ釣りゲーム

6月10日(土) 吉原祇園祭
コミュニティ



富士見高校 コミュニティ研究会

7月2日(日) 富士川河川清掃



7月17日(月・祝) 富士海岸清掃



(株)森電機製作所 MDSグリーン作戦

毎月1回 8:00～
会社周辺の清掃活動



ちよこ美さん♪ あるある～

みんなえらいわねえ～
いえいえ♪
なんかこの達成感…

あつたあつた!

ここにも～!

おお!

はいはい

スガッ!



ストレス解消
なんです～

ちよこ美らいふのひとコマ
募集してま～す!

最後のページの情報提供へ応募してください!

エコの輪を広げる楽しいお祭り

ふじエコ・フェスタ2023

「ちよこ美らいふ」で楽しくごみ拾い!

10月22日(日) 10:00～14:30

【会場】富士市新環境クリーンセンター循環啓発棟
ふじさんエコトピア

スポGOMI大会 in FUJI

『富士山クラブ清掃活動』として年2回のペースで活動が続いている東名グループが、若手社員の企画により、30回目の活動を記念して富士市で“初”となる『スポGOMI大会 in FUJI』を開催しました。

開催日:5月27日(土)、競技エリア:鈴川付近の海岸線沿い(協力:ジヤトコ、富士市環境総務課)



スポGOMIとは?

「ごみ拾いはスポーツだ!」を合言葉に、チーム対抗の競技としてごみ拾いを楽しむイベント。環境美化とスポーツを融合させて、誰でも気軽に参加できる社会貢献活動として全国的に広がっている日本発祥の競技です。

制限時間 90分

ごみは分別して計量=ごみの種類と量でポイントを算出→順位決定



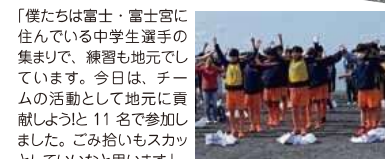
5人1組
52チームが参加!

東名電機チーム(佐野さん親子2人・内田さん親子3人)

「清掃活動にはもう何回も家族で参加しています」というだけあって、トングテクニックはあつた!!「多いのはペットボトル。不法投棄も増えている、タイヤや車のエンジンもあつたしますよ」。



清水エスパルスSS 富士チーム



ジヤトコチーム(AMBUSH:富士社会人リーグのサッカーチーム)



「ユニフォーム揃えて本気で挑みます。みんなで勝利をつかちま〜!!」

富士市立高等学校 総合カルチャー部 JRC チーム

「JRCというのは青少年赤十字のことで、ボランティア・貢献活動をする部活ですね。4月にも海岸清掃を行いました。今回はジヤトコさんから声掛けいただいて、4チームで参加しています。競技ということもあって、いつもと違う感覚で楽しく活動できてよかったと思います」。(中田恭輔先生より)



スポGOMI アンバサダー 松田文志さん(競泳オリンピック)

競技の前と後に、しっかり選手(参加者)に語りかけてくださった松田さん。そのお話より…「僕は本番に弱かった。そこで気持ちを切り替えました。苦しい練習をしてきたごほうびとして、レース(本番)を楽しもう!自分のために泳ごう!。ここぞという時に力を出すには、本能的に動ける状態であること。それまで準備してきたものを全部出すには、楽しんで主体的にやるのが大事なですね。ごみ拾いも自分で動く、自分から向いていく、そんな気持ちでできたらもっともっと意味のあるものになると思います」。

「ちなみに、このペットボトル、海に流れて分解するまで何年かかるといいますか? 400年です。拾うという1つのアクションが、400年の時間をムダにしなかったことになるんです」。「+そんなすごいことをしたってこと!? やりがい感じます!!」

